



2023 12



人と、木と、おけと

11/3 町民文化祭



ヴァイオリンサークル



豊年種まき踊り保存会



ウクレレサークル



コーラスサークルそよかぜ

10/28 こどもセンターどんぐり発表会



元気いっぱいに歌うぞう組(5歳児)

ひとまち
おけと

11/13 置中1年生林業体験



カラマツの苗木約1,000本を植樹

11/11 置戸小学校学芸会



3年生劇「何でも引受株式会社」





おけと大学、置戸高校生と交流

11月1日、おけと大学の学生13人が置戸高校を訪問し、生徒との交流会が行われました。3つのグループに分かれた参加者は、置戸高校が企画した手浴、ボッチャ、手遊びを体験しました。3つのプログラムは各学年が担当し、参加者たちは生徒とコミュニケーションを取りながら交流を深め、「すごく楽しかった」、「手が綺麗になった」などの感想が聞かれました。



勝山地区で防災学習会を開催

11月8日、地域住民の防災意識を高める取り組みとして、勝山地区自主防災隊学習会が勝山公民館で開かれ、約25人が参加しました。学習会では、矢野誠一鹿ノ子ダム管理支所長より大雨災害時の鹿ノ子ダムの役割や、町防災担当より町の災害備蓄品、暴風雪に対する備えなどの説明を受けました。その後、段ボールベットの作成体験も行われ、防災に対する知識を学びました。



心を込めた一品、手作り雑貨市

町民の手作り作品を集めた雑貨市「第19回キッチンファクトリー」が中央公民館で開かれ、ものづくりグループなど19団体が出店しました。会場には、フェルト、陶芸、ガラス、ドライフラワー、レジンなどの作品を展示販売。また、チキンカレーやおけばんばくんうどんなどのフード販売や置戸初登場のキッチンカーも出店し、多くの来場者が訪れて賑わいました。



ホクレン商事との災害時協定締結式

置戸町と株式会社ホクレン商事は、11月13日に役場庁舎にて深川町長と尾形誠エーコープ置戸店長が出席し、災害時における物資の供給に関する協定を結びました。この協定は、地震・風水害等の災害時や武力攻撃発生の際に、応急生活物資の確保や調達が困難になることを鑑み、優先的に供給を要請し、エーコープおけと店の協力により、地域住民の日常生活を守ることが目的です。

児童館等建設基本構想を策定しました

町では、これまでの児童館等建設検討委員会での検討結果を踏まえ、施設整備の基本方針、確保すべき機能や規模などの基本的な考え方をまとめた「置戸町児童館等建設基本構想」を策定しましたので概要をお知らせします。今後は、基本構想に基づき児童館等の建設に向けて基本設計を行います。

基本方針

① 子どもたちが安心して活動できる「遊び」「学び」「体力増進」の場

登録児童と自由来館児童の垣根をなくし、遊びを通じた友達づくりの中で社会性や自主性、創造性を育みながら、児童が健康で明るく安全に活動できる場を提供します。

② 中高生や児童の特性に配慮したさまざまな「居場所」の提供

放課後に行き場のない中高生の居場所を確保し、自主的活動を促すことにより異年齢交流の機会を創出します。また、集団で活発に遊んだり、静かに本を読んだりするなど、児童の多様性や目的に応じてそれぞれに居心地の良い空間づくりを目指します。

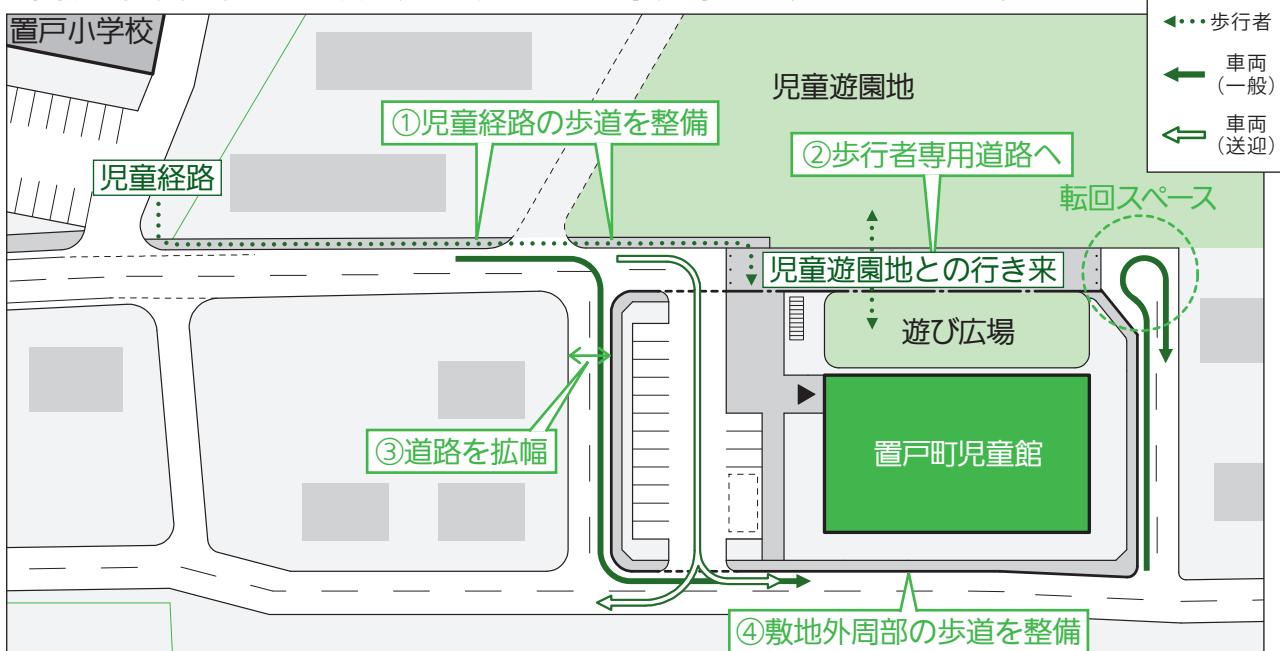
③ 子どもを中心とした保護者・地域住民との多世代にわたる「交流」の場

子どもたちの関わりを通じ、保護者同士の子育てに関する相談、情報交換ができる場を提供します。また、隣接する広場や公園などを含めて行う地域イベントを通して、近隣住民と保護者、子どもたちとの世代を超えた交流の場を創出します。

建設設計画地等

通所の利便性などにより計画地は小学校周辺とし、次の4点について周辺整備を行います。

- ①小学校からの児童経路の歩道を整備し、普段の通所を安全に。
- ②敷地北西側の道路を歩行者専用道路とし、普段の通所や児童遊園地への移動を安全に。
- ③歩行者専用道路設置に伴い、迂回用の車道として敷地南西側の道路を拡幅。
- ④敷地外周部の歩道を整備し、普段の通所や通学、周辺住民の通行を安全に。

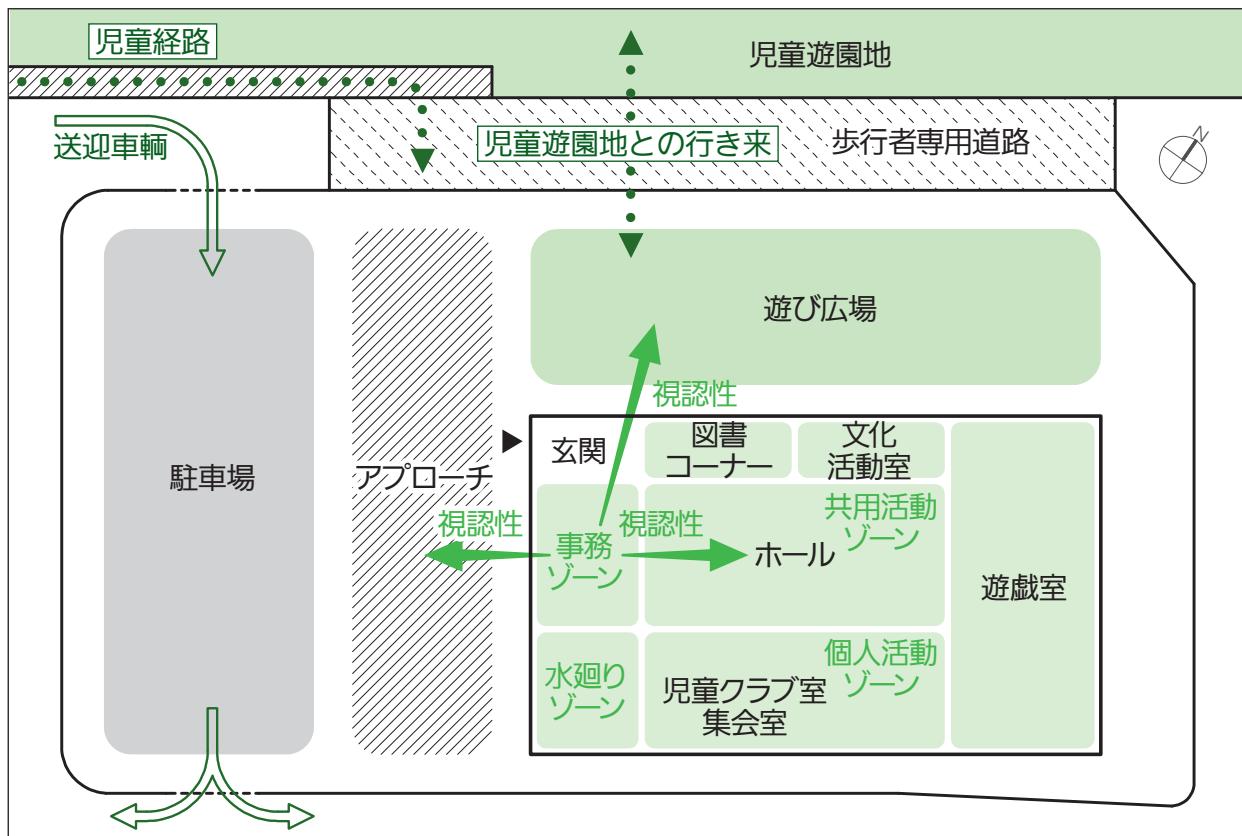


▲配置イメージ図

施設の機能

○施設配置の考え方

- 屋内**
- ・小学校からの経路を主な通所ルートと想定し、玄関を小学校側に配置。
 - ・事務室は、施設内部や外部（遊び広場、駐車場、児童遊園地等）を視認しやすい位置に配置。
 - ・さまざまな児童たちが一体的に活動できる場となるよう、施設の中心部にホールを配置。
 - ・児童クラブ室、集会室は日当たりの良い南東側に配置。
- 屋外**
- ・遊び広場は、歩行者専用道路を通じて児童遊園地と一体的に活用できるよう施設正面に配置。
 - ・車両の動線を考慮し、駐車場は敷地の南西側に配置。出入口は2か所設ける。



▲施設レイアウトイメージ図

○各ゾーンの機能イメージ

個人活動ゾーン	児童クラブ室 集会室	▶ 玩具遊び、食事、勉強などの活動に利用。 用途や人数に応じて部屋同士を繋げることも可能。
	文化活動室	▶ 中高生向けの空間。雑談の場や作業スペース等としての利用を想定。
	遊戯室	▶ ボール遊びが可能な広さ(200m ² 程度)と高さ(6m程度)の空間。
共用活動ゾーン	ホール	▶ 開放的で見通しが良く、雨天時や冬季の遊び場としても利用可能。
	図書コーナー	▶ ホールに併設しており、くつろぎながら読書を楽しむことができる。
事務ゾーン	事務室	▶ 職員が受付や事務処理等を行う空間。施設内外を見通すことができる。
	相談室	▶ 保護者からの相談などに対応。クールダウン室としての利用も想定。
	静養室	▶ 児童の発熱や怪我などに対応。ベッド2台程度を設置可能な面積を想定。
水廻りゾーン	トイレ	▶ 男子トイレ・女子トイレ及び多目的トイレを設置。 また、職員や来館者の利用を想定した職員トイレも設置。

■お問い合わせ 教育委員会社会教育課社会教育係 (☎52-3075)

防災 のススメ

冬型の悪天候による 災害について



令和元年1月19日、猛吹雪で100m先が見通せず、車道も路面が非常に悪い状態（中央町内）

今年も段々と寒さが増し、本格的な冬の足音が間近に迫ってきました。

冬期間の天候は急激に悪化しやすい特徴があり、好天だと思っていても時に思わぬ災害につながることがあります。

昨年も12月22日からの暴風雪などにより道内各地で国道の通行止めや公共交通機関の運休、停電や家屋の破損が発生し、置戸町内においても小・中学校が臨時休校となるなどの影響を受けました。

暴風雪による災害の特徴

暴風雪により発生しやすい災害の特徴には、以下のようなものがあります。

●ふきだまりの発生による車両の立ち往生や排気口の閉塞

車の運転が大変危険となり、積雪が20センチ程度になると発進できなくなる場合があります。

住宅では、FF式暖房機などの給排気口が塞がれてしまうと、一酸化炭素中毒を起こす危険性があります。また、玄関が雪で塞がれてドアが開閉できなくなることがあります。

●暴風や視界不良による歩行困難や事故の危険性

強い風でまっすぐに歩くことが困難になり、体温が奪われて低体温症になる恐れがあります。

また、雪で数メートル先も見えなくなり、方向感覚を失って自分の位置がわからなくなります（ホワイトアウト）。

車からは視界不良により歩行者が見えにくくなるため、思わぬ接触事故や車両の道路外逸脱などの危険性も高まります。

●飛散物の危険性

看板や建物の屋根などが風にあおられて破損することがあります。飛散物が人や物に当たるなど大きな事故や怪我につながる恐れがあります。

●長時間にわたる停電の恐れ

電線着雪や強風、飛散物などにより電線が切れるなどして停電が発生し、照明や暖房が使えなくなることがあります。

天気が回復するまで復旧作業が行えず、停電が長期化することがあります。

冬型の災害を未然に防ぐために

暴風雪による災害は、晴天から悪天へと天気が急変した時に特に多く発生しています。被害を未然に防ぐためにも、以下の点について注意しましょう。

●最新の気象予報や道路情報に注意し悪天候時の外出は控えましょう

テレビやラジオなどで悪天が予想されていることを知った時には、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報を確認しましょう。

また、暴風雪が予想されている時は無理をせず外出を避けましょう。特に、気象台が発表する気象情報に「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」が含まれている時は、厳重に警戒してください。

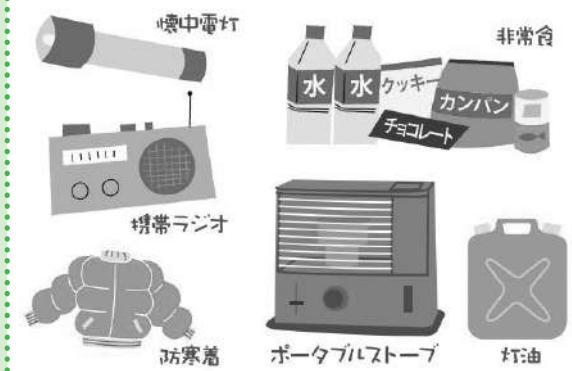
各家庭でも備蓄品の確認などを行い冬期間特有の悪天候に備えましょう

日頃から暴風雪などの災害に備えることも大切です。下記を参考に災害備蓄品を「冬型」に変更するなど準備を整えましょう。

また、停電などで長時間暖房が使えなくなる場合も考え、防寒着や毛布なども十分な数を整えましょう。

・★家の中で安全に過ごすために

- 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- FF式暖房機などを使用している場合は、給排気口付近が雪で塞がれないよう注意しましょう。



・★止むを得ず車で外出するときは

- 天気の急変などに車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意しましょう。
- 十分に燃料があることを確認しましょう。



■お問い合わせ 総務課防災係 (☎52-3311)

これからのオケクラフトを考える

オケクラフト40周年記念講演会開催

10月20日、オケクラフト40周年記念講演会が中央公民館で開催され、町民など約60名が参加しました。

講師には、日経BP社で「日経デザイン」編集長として活躍され、現在は「意と匠研究所」を設立し、デザインを活用して経営、事業、教育などのさまざまな問題解決に携わっている下川一哉氏と共同設立者の杉江あこ氏をお招きし、「地域産品・伝統工芸を強くするデザインとブランディング」と題した講演が行われました。

講演では、下川氏がこれまで関わったプロジェクトの事例が紹介され、「地域産品は、モノづくりとは別に物語を大事にしなければならない。オケクラフトは、秋岡先生との出会いや作り手の思いなど、今一度見つめながら未来を目指していただきたい」とお話がありました。



杉江氏からは、インターネット通販などのデジタルを活用した販売手法とオウンドメディア（自社のホームページやSNSなど）を連携してデジタルマーケティングを推進していく大切さや、これまでプロデュースしたクラウドファンディングの紹介がありました。

最後に、「オケクラフト40年の歴史を振り返り、見直していけばブランドのあり方が見えてくる。そうすることでブランドの核が明確となり、それをベースとした新商品の開発にも可能性が広がっていく。そして、ブランドの意味や価値、そこから生まれた新商品はデジタルマーケティングを活用して、新市場に発信していくことに取り組む段階ではないかと思う」と、下川氏からオケクラフトが次のステップへ1歩を踏み出し、未来に向かって進化していくための提案がありました。



オケクラフト40周年記念事業として、さまざまなイベントが開催されました



【日本の手仕事道具－秋岡コレクション－企画展】
ワークショップ「身度尺の実践 自分サイズの箸を作ろう」



【オケクラフト展 40周年記念展示販売会in札幌】
11月7日～12日の6日間で300人以上の方が訪れました

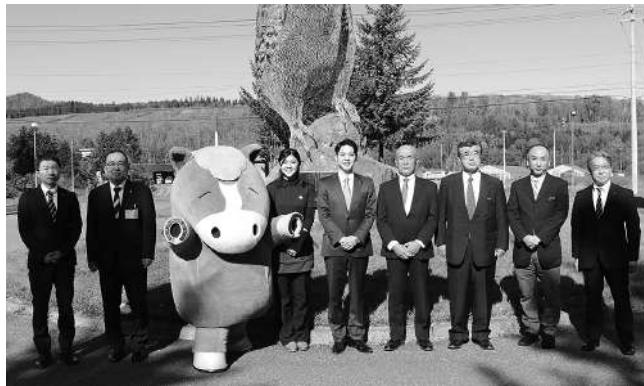
鈴木直道北海道知事 置戸町を訪問

10月24日、鈴木直道北海道知事がおけと勝山温泉ゆうゆを訪れ、「なみちカフェ」が開催されました。

なみちカフェとは、「地域がもっと輝く」北海道の実現に向けて、鈴木知事が各地域を訪問し、地域づくりの実践者や活躍する人々との懇談により、各地域ならではの特色や創意工夫ある取り組みを聞き、その情報を広く発信していく取り組みです。

鈴木知事は、深川町長やおけと勝山温泉ゆうゆの柏原勝理事長、野里智晃専務理事、熱波師としても活躍する地域おこし協力隊の青木ゆめの隊員との懇談後、コテージやトレーラーハウスを視察しました。

なみちカフェの様子は北海道のホームページで紹介されています。



人事異動

11月1日付の置戸町職員の人事異動等をお知らせします。

●新採用



あだち かすみ
安達 霞さん

施設整備課
管理係兼水道管理係

【出身は】置戸町

【皆さんへ一言】ふるさとの置戸町に帰ってきたので、町民の皆さん役に立てるよう頑張ります。町で見かけたら声をかけていただけよううれしいです。

●人事異動 ※（ ）内は異動前

■企画財政課

▷企画係長 小里 純平（地域福祉センター社会福祉係長）

■地域福祉センター

▷地域福祉センター次長兼社会福祉係長 和田 潤（学校教育課長補佐兼総務係長兼学校教育係長）

■学校教育課

▷総務係長兼学校教育係長 長尾 俊輔（企画財政課企画係長）

公共施設等の年末年始休業日のお知らせ

役場・地域福祉センター・教育委員会

12月30日（土）～1月4日（木）

各施設の休館日

○中央公民館・各地区公民館

12月30日（土）～1月4日（木）

○ファミリースポーツセンター

12月30日（土）～1月4日（木）

○げんき

12月28日（木）～1月5日（金）

○図書館

12月28日（木）～1月4日（木）

○オケクラフトセンター森林工芸館

12月30日（土）～1月3日（水）

地域巡回バス運行業務の休業

12月30日（土）～1月4日（木）

ごみ収集業務の休業

12月30日（土）～1月4日（木）

一般廃棄物最終処分場の休業日

（粗大ゴミの自己搬入受け入れ）

12月31日（日）～1月4日（木）

*許可証の交付は12月29日（金）まで

その他

婚姻届、死亡届出事務については、閉庁日に
関わらずお取り扱いします。

<町民生活課長（自宅）☎52-3690>



鈴木 柚葉ちゃん ●5歳1ヶ月
●西町
鈴木 亮さん・智恵さんのお子さん

警察官になりたい！

恥ずかしがり屋の柚葉ちゃん。おさるのジョーが大好きで、お気に入りのぬいぐるみと一緒に寝ています。好きな食べ物はお母さんお手製のチーズリゾット、いちご、のりせんべい。嫌いな食べ物はスイカ、トマト、ピーマン。野菜がちょっと苦手です。お家では、お父さんと一緒にレゴブロックやサッカーをして遊んでいます。最近楽しかったことは、家族で「おびひろ動物園」に行したこと。動物よりも乗り物遊具に夢中だったそうです。将来の夢は警察官になること。そんな柚葉ちゃんのことをお母さんは「のびのび元気に思いやりのある優しい子に育ってほしいです」と、愛娘の成長を温かく見守っています。

「幸せ」も同じで形やモノではなく、一人ひとり、それぞれの心の中にあると思いました。

先月、久しぶりに小学校の学芸会に出席しました。発表が始まり、舞台だけがまぶしい照明で輝き、わが子を追う両親の少し潤んだ大きな瞳に、出演する子どもたちの姿が映つてます。心配そうで嬉しそうで恥ずかしそうな表情が、出演する子どもたちと一生懸命わが子を応援する家族の表情が重なります。これが「リッチ」だなと自分自身も幸せな気分になりました。

卯も飛び跳ねて去る十二月となりました。うれしいことや悲しいこと、そして楽しいことやつらいこと、色々あつたと思いますが、この一年間に感謝申し上げ、町民の皆様がご健勝にて新年をお迎えされますことをお祈りし、ペンを置きます。ありがとうございました。

おけばんばくん担当 田村協力隊よりお知らせ

置戸町観光協会公認で運営を行っているおけばんばくんのSNS「X（エックス）」（旧ツイッター）ですが、現在1か月間で約45万回ほどの閲覧数があり、これを町外向けの情報発信として町民の皆さんのお役に立てればと考えています。

具体的には、個人・団体・業者を問わず、イベント情報の発信、求人募集などを【おけばんばくんからのお知らせ】という形で、「X」を活用して発信していければと思っています。

掲載をご希望の方は、地域おこし協力隊事務所（☎57-1135）田村までお気軽にお問い合わせください。たくさんのご依頼をお待ちしています！



「X」では、おけばんばくんが置戸町をPRしています。
詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。

まちづくり月記

置戸町長 深川 正美

感染症を予防して、 健やかな冬の生活を

今月の担当

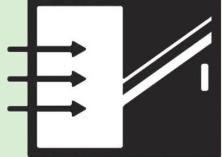
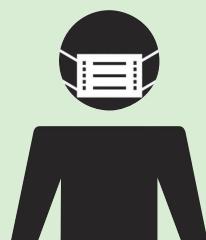
健康推進係長
木根 里子

地域福祉センター健康推進係
(☎52-3333)

町内でも小・中学校を中心にインフルエンザが流行し、新型コロナウイルスもなくならない状況が続いているです。

外気温が下がると部屋を換気する機会が減り、湿度が下がると呼吸器系の粘膜が乾燥しウイルスの生存率が上がってしまいます。

年末年始を健やかに迎えることができるよう、あらためて次の感染対策を心がけましょう。

手洗い、うがい	室内のこまめな換気と加湿	咳エチケット マスクの持参、着用	人混みを避ける 高齢者や基礎疾患をお持ちの方	抵抗力をつける
				

※抵抗力とは…病原体などに打ち勝つための体力や免疫力のことです。免疫とは自分を病原体から守る仕組みです。例えば、血液中の白血球の一種が侵入した病原体を攻撃するなどの働きをします。抵抗力を高めるには、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠、予防接種が大切です。

ワクチン接種のご案内

【新型コロナワクチン】

現在、新型コロナワクチン接種を行っています。過去の接種歴（接種回数）に関わらず接種が可能です。12月末を目途に終了予定です。

接種を希望される方は、新型コロナワクチンワクチンコールセンター（☎52-3188）までご連絡ください。

【インフルエンザワクチン】

町では、生後6か月から中学校3年生（戸赤十字病院での接種に限る）、65歳以上の方などを対象にインフルエンザ予防接種費用の一部を助成しています。

接種を希望される方はお早めに医療機関にお申込みください。

2023いきいきライフフェスティバルを開催します

12月16日（土）に地域福祉センターで、薬剤師の先生を講師に迎え、最新のお薬事情から予防接種の目的と効果、免疫力・抵抗力を高めるコツなどをわかりやすくお話ししていただきます。

詳しくは折込チラシをご覧いただき、ぜひご参加ください。

■お問い合わせ 地域福祉センター健康推進係（☎52-3333）

地域おこし協力隊活動日誌

＼ 課外活動 ／

地域おこし協力隊員 林 奈緒美

こんにちは、地域おこし協力隊の林です。そろそろやってくる一面の銀世界が楽しみなこの頃です。この冬は、前回できなかったワカサギ釣りに挑戦したいと思っています！

私は「学校巡回司書」として活動していますが、今回は学校外での活動について少しご紹介します。

7月に「あおぞら図書館」と題し、図書館の芝生エリアで本を読んだり遊んだり、というイベントを行いました。子どもたちには楽しんでもらえたのですが、次回は年齢を問わず楽しめる催しができたらと考えています。

10月には、上川町の「PORTO」という交流＆コワーキングスペースで古本屋をしました。



6月から古本を販売していた関係で、お声がけいただき出店。「置戸に遊びに行きたい！」と言ってくださる方がたくさんいて、「受け入れを頑張らないといけない」と改めて感じました。

古本については、今後も長く続けていきたいと考えています。本が好きなのはもちろんですが、一度不要になってしまったものが次の使い手に渡っていく、資源が循環していくところがなによりも魅力です。現在は古物商許可を取得して、一般の方の持ち物を買取できるようになりました。食器や小物も扱えますので、お片付けしたい方、ご一報ください！

(インスタグラム @naomi_shorin)



喜びと悲しみ（敬称略）

■ご出産おめでとうございます

- 齊藤 陸優 女児 楓彩（ふあ）栄第一 10/24
- 米村 光翔 菜々美 女児 有結（あゆ）宮下 10/25

■お悔やみ申し上げます

- 名和 進 85歳 若木 10/19
- 高橋 勇 103歳 西町 10/24

人の動き

●世帯数	1,367世帯（-7世帯）
●人 口	2,618人（-6人）
●男1,212人（-6人） 女1,406人（±0人）	

令和5年10月31日現在（）内は9月末比

置戸の情報をインターネットでチェック！



人と、木と、おけと



ホームページ



YouTube

■今月号の表紙：10月21日、置戸中学校学校祭（演劇「真夏のサンタクロース」）